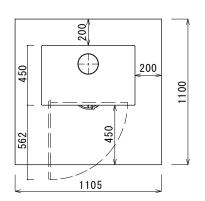
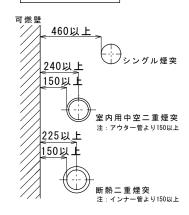


炉台保護範囲最少寸法



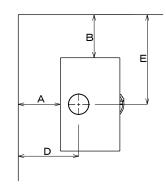
煙突の離隔距離

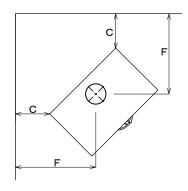




※ EN13240 燃焼試験による数値

本体離隔距離図





◆本体離隔距離 (単位mm)

壁仕上	Α	В	С	D	E	F
不燃壁*1		3 0 0	3 0 0	4 4 0	655	650
可燃壁※2	600	600	600	7 4 0	955	950

【※1】25mm以上の空気層のある不燃材の遮断壁を設けた時の可燃材からの離隔距離。

【※2】EN13240のテストメソッドに基づき計測された数値です。

*壁が60K(60+室温℃)に達しない距離

- 注:A,B,Cはトッププレートからの距離です。
- 注:本体離隔距離と煙突離隔距離を比較して最大の数値を採用して下さい。
- 注:本体前方から可燃物までの離隔距離は1070mm以上として下さい。
- 注:数値は試験値であり、保証値ではありません。

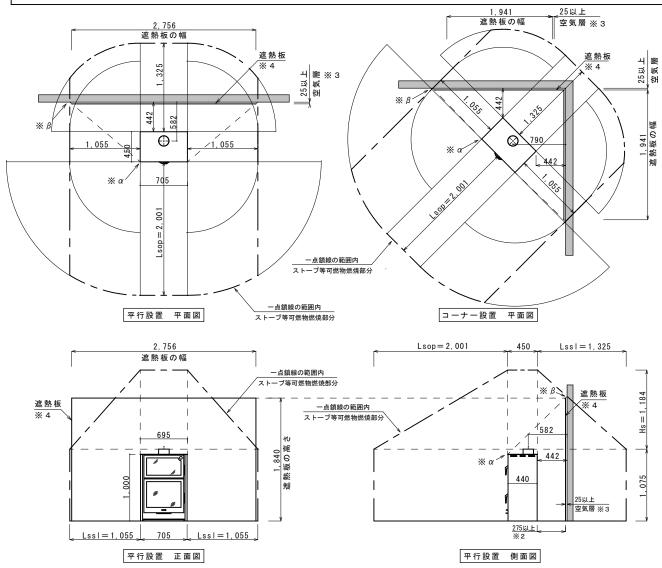
DATE	МЕМО

Nagano and Sohsyo Company Limited

Phone: 0267-32-2353 Fax: 0267-32-2690

subjet 承認図		SHEET TITLE ヘルゴン アルセ				
SCALE 1/20	, DATE 22 04 01	CHECK	DRAFT	Kobayashi	CON	SHEET NO.





※1:ストーブ等は1秒間当の発熱量が18kw以下のもの

※2:遮熱板等とストーブ等との距離(遮熱板等の厚みを含む)は

27.5cm以上とすること

※3:遮熱板等とストーブ等可燃物燃焼部分の壁との距離は

2.5cm以上とすること ※4:特定不燃材料とする

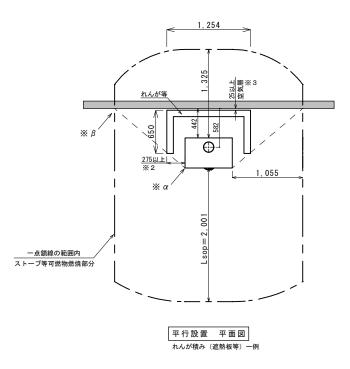
特定不燃材料

・コンクリート ・鉄鋼 ・れんが ・金属板 ・金属板 ・モルタル ・陶磁器質タイル ・しつくい ・繊維強化セメント板 ・石

ガラス繊維混入セメント板 ・せっこうボード (厚さ3mm以上) (厚さ12mm以上でボード用原紙の厚さが0.6mm以下のもの)

・繊維混入ケイ酸カルシウム板 ・ロックウール (厚さ5mm以上) ・グラスウール板

ストーブ角($(X \alpha)$)と、ストーブ等可燃物燃焼部分と可燃物の交点($(X \beta)$)を結んだ直線上に、特定不燃材料等の遮熱板を設け有効に遮熱すること



※この資料に示す遮熱板範囲は一例です。 ストーブの設置の仕方(向き)、周壁や天井等との位置関係、 遮熱板を設ける位置によりさまざまな場合が考えられます。

DATE	МЕМО		SUBJCT		機種名		
		Nagano and Sohsyo Company Limited	内装制限告示	ト内容に基づく設置	[図│ ヘルゴン]	ヘルゴン アルセ	
		Phone: 0267-32-2353		1.00.04.04			1
		FIIVINE: 0207-32-2333 Fax: 0207-32-2090	SCALE 1:40	ATE 22 04 01 CHECK	_{DRAFT} Kobayashi	CON	SHEET NO.